

第78回福島県総合スポーツ大会会長あいさつ

第78回福島県総合スポーツ大会
会 長 北 村 清 士

第78回福島県総合スポーツ大会が、多くの選手・監督・役員の参加のもと、県内25市町村において盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

本大会は、県民総参加のスポーツ大会として、長い伝統を重ねながら、本県スポーツの振興と文化の発展に寄与してまいりました。今後とも、スポーツをとおして県民の生活をより明るく豊かにするという趣旨のもと、県民の元気と笑顔につながる素晴らしい大会となることを期待しております。

昨年度の第78回国民スポーツ大会では、ウエイトリフティングをはじめとする個人競技での着実な入賞に加え、軟式野球や弓道成年男子、バドミントン少年男子で優勝を果たすなど団体競技での躍進もあり、天皇杯順位37位と、3大会ぶりに30位台の成績となりました。これも、各団体の皆様が競技力向上に向けて工夫を重ね努力し続けてこられた賜物であります。

さて、現代社会におけるスポーツの役割は、単に競技力向上を目的とするだけではなく、健康の増進、地域コミュニティの活性化、公平・平等・尊重といった価値観の醸成など多岐にわたっており、スポーツが持つ無限の可能性に期待が高まっているところであります。

このような中、互いにスポーツへの多様な価値観を認め競い合う「福島ならではの」の大会「県総スポ」が開催されますことは意義深く、参加者の皆様には、大会を通じて、友情や親睦を深め、県全体に元気や笑顔を広めていただきますとともに、フェアプレーの精神に則り、日頃鍛えた力と技を存分に発揮されますことを心から願っております。

終わりに、大会の開催準備・運営に御尽力いただきました関係の皆様には心から感謝を申し上げます、あいさついたします。